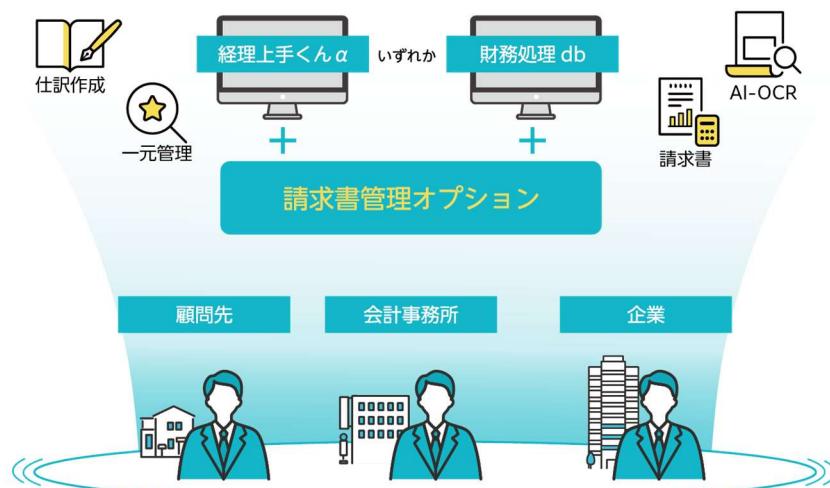


日本ICS、「請求書管理オプション」を全国提供開始 ～受領・管理・仕訳作成をひとつにつなぎ、請求書業務のスタンダードを刷新～

TIS インテックグループの日本ICS株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：西林 心路、以下：日本ICS）は、請求書の受領・一元管理・仕訳自動作成をシンプルに実現できる「請求書管理オプション」を2025年12月3日より全国向けに提供を開始します。これまで地域限定だった本サービスを全国に展開することで、より多くの企業が請求書業務のデジタル化を手軽に始められる環境を提供します。

■概要

「請求書管理オプション」は、請求書の受領から仕訳作成、保管までを一元化し、日本ICSの会計システムと連携して経理業務を大幅に効率化できるオプションサービスです。紙・PDFを問わず受領した請求書をAI-OCRで読み取り、簡単にデータ化できるため、煩雑な入力作業や台帳整理、属人化しがちな経理処理を軽減できます。



請求書の受領から仕訳作成を効率化

請求書の一元管理

- AI-OCR読み取り
- PDF読み取り・スキャナ対応
- 取引先自動登録
- 請求書一覧管理
- 請求書検索/登録/確認

仕訳データの取り込み

- 支払結果連携
- 仕訳データ作成
- 経理上手くんα / 財務処理db連携
- インボイス制度対応
- 電子帳簿保存法対応

■ 主な利用シーンと運用例

【基本構成】

- ・ 「経理上手くんα」 + 「請求書管理オプション」
- ・ 「Nic Atlas シリーズ(財務処理 db)」 + 「請求書管理オプション」
- ・ 「ICS ATOM II シリーズ(財務処理 db)」 + 「請求書管理オプション」

「請求書管理オプション」を利用することで、企業は請求書業務を「拠点主体」と「本社集約」の2つの運用で進められます。いずれの運用でも、本社と各拠点が同一データを共有できるため、業務負荷の偏りや処理の遅延を抑えつつ、効率的な運用が可能です。

①拠点主体で処理する運用

各拠点が請求書の受領・データ化・支払処理・仕訳作成までを担当し、本社は決算処理のみを担う運用です。拠点が登録した情報を本社がそのまま活用できるため、月次・決算業務の確認が迅速になり、拠点ごとの処理品質を安定します。結果として、全社の会計プロセスを効率化よく進められます。

②本社集約で処理する運用

拠点では、請求書の受領とデジタル化のみを行い、支払処理・仕訳作成・会計処理は本社で一括して実施する運用です。拠点の作業負荷を最小限に抑えられるため、人員が限られている拠点でも無理なく対応できます。本社側で処理品質を統一できるため、業務の抜け漏れや作業のバラつきも抑制しやすくなります。

さらに、電帳法対応オプションを導入すると、領収書やレシートの仕訳も自動作成できます。

【推奨構成】

[会計事務所]

+

- 〔顧問先〕
- ・ 「経理上手くんα」
+ 「請求書管理オプション」 + 「電帳法対応オプション」
 - ・ 「Nic Atlas シリーズ(財務処理 db)」
+ 「請求書管理オプション」 + 「電帳法対応オプション」
 - ・ 「ICS ATOM II (財務処理 db)」
+ 「請求書管理オプション」 + 「電帳法対応オプション」

■今後の展望

日本 ICS は、「日本 ICS の会計システム」と「請求書管理オプション」が請求書業務の DX 化を実現するソリューションと位置付け、企業経理業務担当者の業務負荷軽減と生産性の向上を推進していきます。今後は、請求書管理オプションを起点に、請求書発行・未収未払管理・取引先の管理などの販売管理領域へも機能を拡張し、会計事務所と顧問先がひとつのサービスで業務を完結できる環境を整備していきます。こうした取り組みを通じて、当社が掲げる「税理士 360 構想」にもとづく包括的な支援をより一層強化してまいります。

また、2025 年 6 月より TIS 株式会社が提供している「DX Connect Gate」との連携により、債権債務等入金支払管理・仕訳データ自動連携管理などを実現し、経理業務全体の更なる高度化を目指し、当社も順次地域金融機関との提携を推進してまいります。

■DX Connect Gateについて

「DX Connect Gate」は、「銀行」×「IT」×「税理士」のノウハウを融合させた IT ソリューションで、企業の請求書受領から精算までのバックオフィス業務を支援するプラットフォームです。銀行への送金指示までを API で自動連携し、請求処理をデジタル化することによりペーパーレス化やインボイス対応、支払いコストの軽減を実現します。
なお、本サービスは、TIS 株式会社より提供します。

■税理士 360 構想について

日本 ICS は、TIS インテックグループ内外の企業との連携・協業強化により、従来から提供している税務・会計システム提供を主軸に置きつつ、税理士を取り巻く周囲 360 度全ての支援メニューを開拓していくため、「税理士 360 構想」を掲げています。

第一弾 「税理士 360 構想」を掲げ、「ICS デジタルポスト」を提供開始

<https://www.icsics.co.jp/post-news/46212>

第二弾 「税理士 360 構想」の第二弾として、三菱 UFJ 銀行の「DX 支援スキーム」に参画

<https://www.icsics.co.jp/post-news/47421>

第三弾 「税理士 360 構想」の第三弾として金融機関向け決算関係書類の電子データ提供サービスを開始

<https://www.icsics.co.jp/post-news/48973>

第四弾 会計事務所の顧問先企業向け経費精算業務自計化パッケージ「ICS デジタルクリップ」を提供開始

<https://www.icsics.co.jp/post-news/49707>

第五弾 日本 ICS、「税理士 360 構想」の第五弾として、「請求書管理オプション for DX Connect Gate」を提供開始

<https://www.icsics.co.jp/post-news/55572>

日本 ICS 株式会社について (<https://www.icsics.co.jp/>)

日本 ICS は、お客様視点での商品開発を企業理念とし、1965 年より財務・税務・給与計算システムの開発・製造・販売から保守に至るまで、トータルでサポートする IT ベンダーです。税理士を取り巻く周囲 360 度すべての支援メニューを開拓していく『税理士 360(サンロクマル)構想』を掲げており、会計事務所とその職員、顧問先に向けた課題を解決する各種サービスを開拓することで信頼性と顧客満足度の向上を目指しています。

TIS インテックグループについて (<https://www.tis.co.jp/>)

TIS インテックグループは、国内外グループ 2 万人を超える社員が『IT で、社会の願い叶えよう。』を合言葉に、「金融包摂」「都市集中・地方衰退」「低・脱炭素化」「健康問題」を中心とした様々な社会課題の解決に向けて IT サービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして新たな価値を創造し、人々の幸せと持続可能な豊かな社会の実現に貢献します。

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

当社サービスに関するお問い合わせ先

日本 ICS 株式会社 営業戦略部

TEL : 06-6773-3881 E-mail : hansoku_info@icsics.co.jp